

ヴォリュームアキュライザーの模造品(4)

1. 始めに

前報(3)に引き続き、ヴォリュームアキュライザーVRA-7の模造品を検討します。

2. 模造品の制作手順および適用箇所の検討

前報(3)までは、缶入りメンソレータムの利用を行ってきましたが、詰め物として手芸用黒色フェルトの効果が認められたので、今回は缶なしでの制作です。

メンソレータム缶を使用せず、レゾナンスチップ、制振金属およびプラスチック板を使用し、紙製の両面テープで、丸く切り抜いた手芸用黒色フェルトを貼りつけ、反対側にゴム製の両面テープを貼って対象物に貼り付けられるようにします。これらを模造品4号、模造品5号、模造品6号とします。



模造品4号 模造品5号 模造品6号

さらに、手芸用黒色フェルトを長方形に切り抜き、ゴム製の両面テープを貼って対象物に貼り付けられるようにします。このものを模造品7号とします。



模造品7号

3. 模造品の適用箇所と試聴

模造品4号、模造品5号、模造品6号の試聴は、若松通商のMaranz7タイププリアンプのヴォリュームへの適用で、Garad401による下記盤のアナログ再生により効果を評価します。

キングレコード SKA-104

倍賞千恵子

これら模造品 4 号、模造品 5 号、模造品 6 号のいずれも以前に実施した VRA-7 の効果には及びませんが、歌唱のニュアンスや音像が明瞭にたち、その効果は、模造品 4 号→模造品 5 号→模造品 6 号の順に大きくなります。そこで模造品 6 号をそのまま使用することにしました。



次に模造品 5 号は、以前に実施したアナログ入力の場合に VRA-7 の効果を認めた Brooklyn DAC+ のヴォリュームに使用することにしました。

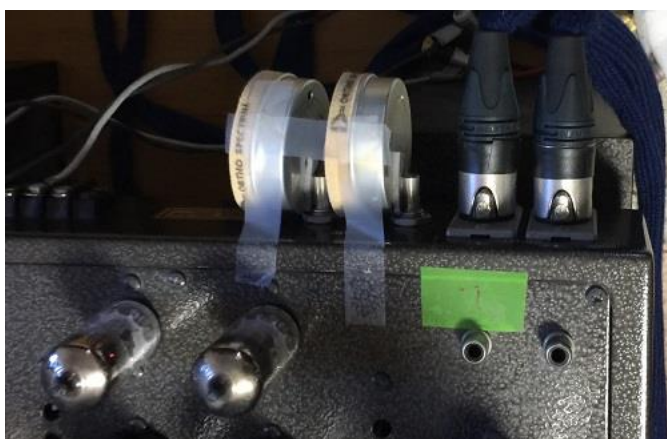


模造品 7 号は、Sonica DAC から DA-3000 へのバランス接続に使用しているバランスアナログアキュライザーに貼ってある VRA-7 と交換することにしました。



バランスアナログアキュライザーから取り外した VRA-7 は 300B アンプに使用します。300B アンプへの適用はヴォリュームアキュライザーの活用(20)で報告していま

すが、その後、VRA-7の1個は外して、300BアンプへのL/Rヴォリューム2個には木片を橋渡しし、その上にVRA-7の1個を貼りつけていました。この木片を取り除き、[ヴォリュームアキュライザーの活用\(20\)](#)のL/Rヴォリューム2個に直接貼りつける状態に戻しました。この状態でSonica DACからDA-3000へのバランス接続を経由する再生を行ってみましたが、VRA-7を模造品7に替えたことの劣化より、300BアンプへのL/Rヴォリューム2個に直接貼りつける効果の向上が上回っていることが分かりました。



以上の再構成を受けて、総合的な効果を見るために下記の再生を行い、いずれも満足すべき結果であることを確認できました。

LINN LP-12によるアナログ再生

Garad401によるアナログ再生

RMT981によるCD再生

fidataによるSpotify Connect再生

fidataによるCDドライブからのCD再生

fidataによるfidata収納ファイル音源再生

DMR-UBZ1による放送録画再生

DMR-UBZ1によるBPODCH再生

DMR-UBZ1によるYouTube再生

4. まとめ

メンソレータム缶を使用しない模造品を製作し、その効果はVRA-7には及ばないものの、活用する場面を選択し、取り外したVRA-7は300Bアンプに戻して、これらの再構成の効果を総合的に確認することができました。なお、以前に制作した模造品1号から3号は、LINN LP-12のフォノケーブルの引き出しからZANDEN Model120への入力の間にも有効活用しています。

以上